



恩人、友人の皆様、

深い感謝と喜びのうちにこの手紙を書いています。ご存じのように、修道会は、長上の任期を会憲に定めています。サレジオ会日本管区の管区長、プッポ神父様は、二〇〇九年一月に任期を終えられ、サレジオ会総長は私、チプリアニ・アルド神父を、今後六年間任期を務める新しい日本管区長に任命しました。ドン・ボスコ基金は、発展途上国で働く宣教師たちへの皆さんの寛大な支援を一本化することにより、二年前に始まりました。プッポ神父様の英断でした。

それぞの宣教師の活動への支援は以前と同じように継続されながら、世界各地方、特にサレジオ会が働く現場の実際のニーズについて、より幅広い理解を私たちに得られるようになりました。

前回の報告にありましたとおり、皆さんの寛大な援助により、私たちはボリビア、マダガスカル、アルゼンチン、ペルー、コンゴ、スードン、ソロモン諸島などの宣教事業を支援することができました。支援を受け

た方たちは皆さん温かい心に感謝し、皆さんのために必ず祈つておられると思います。私も心から感謝を申し上げます。時には、世の中の深刻な必要に比べると、私たちの支援が大海の一滴のように感じられることがあるかもしません。しかし、マザー・テレサが言つているように、その一滴がなければ、大海は完全ではないのです。



同時に、ご家族、特にお子さんと一緒に、世界の貧しい人々のため祈つてくださるようお願いします。そうすることによって、子どもたちは自然に、人の苦しみや必要にも心を開く人として成長するようになるでしょう。

今年、サレジオ家族は、サレジオ会創立一五〇周年を記念しています。サレジオ会を立ち上げる際、ドン・ボスコを含めて十八人が集まりましたが、そのうち十六人は十五歳から二十四歳までの若者でした。彼らは若者らしい熱意から、他者のために人生を捧げようと決意しました。この世界のための、神の平和と愛の夢を実現させるためです。

私たちもまた、この旅に加わることができるのではないかでしょうか。「惜しみなく、喜んで与える人を、神は愛される」。

キリスト者の助け聖マリアとドン・ボスコの取り次ぎを通して、神様が皆さんお一人ひとりと、皆さんにとつて大切な方たちを祝福してくださいますように。

(アルド・チプリアニ神父)

スー・ダ・ン

カラカラの ドン・ボスコ診療所プロジェクト



◆スー・ダ・ンの状況

スー・ダ・ンは、アフリカで最も大きく、最も多様な国のです。一九五五年から二〇〇五年までの半世紀に及ぶ内戦が、おもにイスラム教徒の暮らす北部と、精靈信仰・キリスト教を信じる人々の暮らす南部の間で続いたため、二百万人が犠牲となり、四百万人が国内外で難民になっています。

特に戦闘の繰り広げられた南部では、長年にわたって教育や医療の社会的インフラは崩壊したままでした。国際社会の調停により、ようやく二〇〇五年の一月に平和協定が結ばれました。

現在、三百万人が首都カルトウム郊外の四つの地区、カラカラ、オムドゥルマン、ジャベラウリア、ハジュシフで避難生活を続けています。家は自分で建てた泥造り、電気や水道はほとんどありません。安全な飲み水、医療、教育、衛生、下水など、生活の基本的なサービスや設備がありません。

◆サレジオ会の活動

スー・ダ・ンのサレジオ会は、この四箇所の難民キャンプで、教育と医療に取り組んでいます。五つの小学校、二つの中等学校、一つの診療所を運営しています。仮設の学校では、二、三五〇人の子どもたちが学んでいます。

◆今回のプロジェクト

私たちの抱えている問題は、避難民の人々がほかで医療を受けられず、私たちの運営するカラカラの診療所が、大きなニーズに十分に応えられないことです。診療所では医師一人、看護師一人、看護師の資格を持つシスターが一人働いています。二〇〇八年には、二三、五六〇人が診療所で治療・診療を受けました。その多くが女性と子どもです。

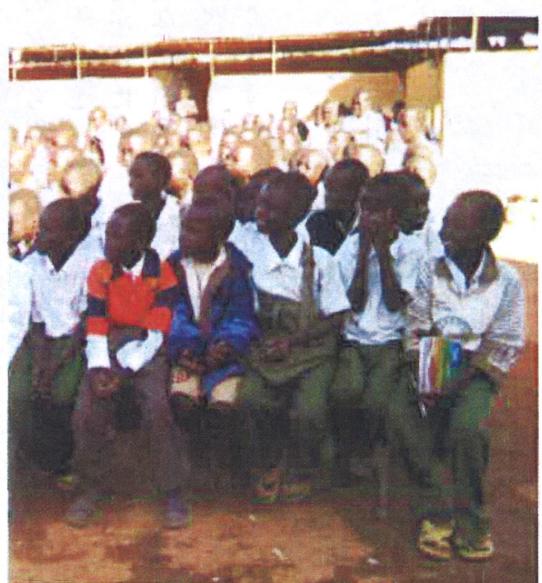
今回のプロジェクトは、今の小さな診療所を拡充し、新しい診療所を建て、医療の向上、母子の健康、HIV/AIDS予防などをはかるものです。また、教育も収入もない避難民の若者が仕事を

に就いて自立するのを助けるため、コンピューター技術を学ぶ教室を併設する計画です。女性やイスラム系の生徒も受け入れる教室は、一致



◆プロジェクトの内容

新しい診療所（待合室、調剤室、医師執務室、診察室、治療室、多目的ホール、教室など）
プロジェクト見積額… US\$1,000,000
(約1,000万円)



はじめに聞き入る子どもたち

多くの苦しみを経験してきた避難民の方々、若者が、希望をもって未来に目を向けることができるよう、スー・ダ・ンのサレジオ会はがんばっています。皆様の温かい支援に感謝します。

ドン・ボスコ基金とは

「ドン・ボスコ基金」は、日本のサレジオ会の教会や学校、協力者の間に、今まであつたさまざまな支援活動を統合して二〇〇七年十一月に立ち上げられ、世界の貧しい地域で

年が、ボスコの心をもつて教育活動を重視し、貧しい人々や青少年に希望を抱くようになることを願っています。

発展途上国援助・ドンボスコ基金 2008年度決算書 (2008年4月1日～2009年3月31日)					
収入の部		支出の部			
科目	金額	項目	金額		
前年度繰越金	3,326,928	寄付金支出	15,493,447		
寄付金収入	24,300,665	#内訳			
#内訳		ソロモン・パプア	1105,000		
1その他(基金に委任)	12,459,508	ペルー	916,400		
2ボリビア	4,737,830	アルゼンチン	923,500		
*3DBCW	3,550,000	ボリビア	4,371,300		
4ミャンマー	2,016,727	マダガスカル	889,500		
5スーダン(ケニヤ)	1,536,600	スーダン(ケニヤ)	1,800,000		
受取利息収入	2,581	ミャンマー	2,443,847		
		東チモール	1,000,000		
		CSM友の会	1,000,000		
		その他	1,043,900		
		事務経費	458,240		
		#内訳			
		送金手数料	92,250		
		通信費	171,735		
		事務費	194,255		
		合計	15,951,687		
		次年度繰越金	11,678,487		
		#内訳			
		振替口座	2,327,839		
		ゆうちょ銀行	9,160,137		
		現金	190,511		
収入の部合計	27,630,174	支出の部合計	27,630,174		
*3 ドンボスコチャリティーワールド					
2009年6月1日		発展途上国援助・ドンボスコ基金 代表者 チブリアニ・アルド			
監査報告書					
発展途上国援助・ドンボスコ基金の2008年度会計は 収入・支出とも公正かつ適切に行われたものと認めます。					
2009年6月3日		発展途上国援助・ドンボスコ基金 監事 渡辺 新 監事 リチャード・スミス			
(注)2009年4月1日から現在までに行っている主な援助は次のとおりです。					
①マダガスカル 1,000,000円 ④ペルー CSM 1,000,000円 ②アルゼンチン 2,000,000円 ⑤スーダン 3,000,000円 ③ボリビア FMA 500,000円 ⑥東チモール 1,000,000円					





DBK だより 第3号
2009年6月15日

発行人：アルド・チプリアニ
発行所：サレジオ管区本部
〒160-0011
東京都新宿区若葉1-22-12
tel : 03-3353-8355
fax : 03-3353-7190
dbk-gia@donboscojp.org

ご寄付くださる方は
以下にお振り込みください。

郵便振替 口座番号
00100-4-560725

加入者名

発展途上国援助・ドンボスコ基金

